



平成21年11月9日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
 代表者名 代表執行役社長 重田 衛
 (コード番号 5103 東証第二部)
 問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦
 (TEL. 04-7131-0181)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年5月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

1. 連結業績予想数値の修正

22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,141	△71	△64	△68	△1.63
今回修正予想 (B)	1,702	△137	△34	△37	△0.84
増減額 (B - A)	△439	△66	30	31	
増減率 (%)	△20.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	2,077	△42	△5	12	0.36

22年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	4,430	△5	7	0	0.01
今回修正予想 (B)	3,622	△191	△66	△73	△1.64
増減額 (B - A)	△808	△186	△73	△73	
増減率 (%)	△18.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	3,903	△261	△205	△1,297	△33.86

2. 個別業績予想数値の修正

22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	1,922	△80	△67	△70	△1.68
今回修正予想（B）	1,529	△161	△34	△37	△0.83
増減額（B－A）	△393	△81	33	33	
増減率（％）	△20.4	－	－	－	
（ご参考）前期実績 （平成21年3月期）	1,937	△50	△22	△4	△0.12

22年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	4,029	△20	6	0	0.01
今回修正予想（B）	1,665	△124	11	6	0.14
増減額（B－A）	△2,364	△104	5	6	
増減率（％）	△58.7	－	83.3	－	
（ご参考）前期実績 （平成21年3月期）	3,600	△315	△256	△1,321	△34.48

3. 修正の理由

当第2四半期累計期間において、売上高につきましては、当社のスポーツ用品自社ブランドの「ルーセント」やソフトテニスボールの「アカエム」の販売を行うスポーツ用品事業は堅調に推移いたしました。もうひとつの当社の主力事業である工業用ゴム製品が、昨今の景気動向から企業の需要の回復も予想よりも遅れ、予想よりも約2割減という非常に厳しいものとなりました。営業利益につきましては、今期から全社一丸となり販売管理費の圧縮を進め、一定の成果を挙げつつあるものの、売上高の減少が想定以上に大きく予想を下回ったものの、経常利益、四半期純利益につきましては、受取利息94百万円、有価証券売却益33百万円、有価証券評価益41百万円等、資金運用・余資活用により予想数値を上回る結果となりました。

一方通期の業績見通しにつきましては、景気動向については一部の分野では回復も見られるものの、工業用ゴム製品の需要回復時期は以前流動的でありますので、第2四半期累計期間の業績等も勘案の上保守的に修正することといたしました。

尚、22年3月期通期個別業績予想の売上高の減少が△2,364百万円と非常に大きな金額となっておりますが、その主な理由は、平成21年10月1日において新設会社分割により当社の営業のほとんどを新たに設立した昭和ゴム株式会社、昭和ゴム技術開発株式会社、ショーワスポーツ株式会社の3社に承継させたことに伴うものであります。

（業績予想に関する留意事項）

本資料における予想は発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

以上